

酒井たくや

中野区

サカタク通信

28年1月号

発行/ 民主党議員団 中野区中野4-8-1 Phone: 03-3228-8876 Fax: 03-3389-8718



次代を担う子供達の 学力・体力の向上を

**学力向上アシスタントの
増員と身分の見直しを！**

質問 学力の向上には、少人数

教育を推進し、きめ細かに子供たちの習熟度に応じて学習指導をすることが大きな効果があると考えます。

区でも少人数指導・習熟度指導のため、学力向上アシスタントを配置しておりますが、十分には足りない状況です。学力向上アシスタントを増員すべきではないか。

答弁 効果的な活用方法について情報提供など行い、指導の質の向上を目指す。

質問 学力向上アシスタントの任用は臨時職員で、雇用期間は延長を含めて最長1年間です。

一人一人の子供達の課題なども理解し、きめ細かに指導が出来るようになって最長1年で辞めざるをえません。非常勤職員であれば、1年ごとの任用であり、良い人材であれば更新することも出来ます。

継続して安定的に子供達を指導できるよう、任用の見直しを行うべきではないか。

答弁 配置している人材全体の状況を踏まえ検討して行く。

体力の増進について

質問 子供達の体力の低下は全国的に深刻な状況です。区も同様で、体力テストの結果、東京都平均を上回る項目数の割合は25年度が49%、26年度が29%と

大きく下降しています。東京都の体力が向上する中、東京都との差が開き危機的な状況であります。

教育委員会も様々取り組んでおりますが、限界があります。例えば、区内の公園のほとんどはキャッチボールも出来ません。日ごろからスポーツに親しめる環境が必要で、公園分野は都市基盤部が所管し、スポーツ分野は健康

ダブルケア への支援を！

(子育てと介護
の同時進行)

質問 従来なら子供に手がからなくなつた頃に親の介護に

直面していたのが、晩婚化・高齢出産により、子育て・介護・仕事を同時進行で行わなければならないダブルケアが我が国において今後、大きな社会問題・政策課題になると言われます。

ダブルケア両立のための情報や支援体制はまだ不足しており、区は現状を把握して、このダブルケアに対応する相談窓口などの仕組みも考えていく

福祉部が所管しております。

この縦割り行政を解消し、教育委員会と都市基盤部・健康福祉部が危機的な子供達の体力の低下の問題に同じ課題認識を持つ必要があります。所管を超えた横断的なプロジェクトチームで対応すべきではないか。

答弁 課題と認識し、各部署が連携し取り組みを進める。

必要があります。

また、行政サービスにおいて、実際には介護サービスと子育て支援はメニューも違い、例えば、子供の送り迎えと親の送迎などの時間の統合など、子供と高齢者の縦割り行政を見直し、世代を横断する視点を持った新しい「家族政策」の形成を考えるべきではないか。

答弁 地域包括ケアシステムの中で、必要な支援をトータルに提供できる体制を構築していき

NEWS

1

JR東中野駅東口バリアフリー化が 10か年計画(素案)に位置づけられる!!

現在、区の最上位計画である「新しい中野をつくる10か年計画」の改訂が行われており、そこに地元の悲願でもあるJR東中野駅東口バリアフリー化が位置づけられました。ホームまで階段を昇り降りしなければならず、周辺には無い特異な駅であります。この二度の階段の昇降が高齢者・親子連れにとっては大変に厳しいものであり、これまで、私も議会で幾度も取り上げて参りました。平成37年度までの完成を目指す考えですが、着実な推進と少しでも前倒し出来る取り組みを進めて参ります。



NEWS

2

28年度予算要望を行いました。 4つの大きな柱を基本として68項目を要望しました。



公正・公平な中野を目指して

- 特別区民税、国民健康保険料をはじめ、すべての区債権の収納率向上
- 税金のムダづかいをなくすための事業評価手法の改善
- 透明性のある持続可能な区政運営 ●良質な公共サービスの提供

子どもを産み育てたい中野を目指して

- 妊娠・出産・子育てトータルケア事業の充実
- 保育園・学童クラブの待機児童の解消と質の向上
- 地域力を活かした子育て支援の充実
- 公教育の充実 ●安心して子育てできる環境作りの推進

安全・安心の中野を目指して

- 自然災害等に対する脆弱性の克服と地域防災力の向上
- 公的支援を必要とする人を救う仕組みづくり
- 地域包括ケア体制の確立 ●がん対策 ●メンタルヘルス対策

住んでよかったと思える中野を目指して

- 住環境の基盤整備 ●働く世代が余暇を楽しめる環境整備
- 地域や住民自身の活動の支援 ●国際交流の推進 ●区民の区政参加促進

詳細はブログをご確認下さい。

NEWS

3

子供達をネット 犯罪から守る!!

携帯電話やスマートフォン等は子供たちの必須アイテムですが、便利な反面、誤った使い方をして、いじめなどのトラブルや様々な犯罪に巻き込まれたりする危険性があります。

教育委員会の調査では、「ネット上の有害サイトを閲覧出来ないフィルタリング機能を行っている」と回答した小中学生は5割に満たず、また、6割が「家庭内での携帯電話の使い方に関するルールがない」と回答している。

まず、この状況を捉え、改善して行く取り組みが必要です。例えば、熊本市の中学校では、「LINE」での悪口の書き込みにより、クラス全体に異変が生じ、「このままでは自分も友達も守れない」と生徒が主体となりルールを作りました。

夜遅くの連絡・中傷的な書き込み等の迷惑行為の約7割が改善されたそうです。大人が頭ごなしにルールを決めるのではなく、子供達がまず自分達で考えることにも意義があります。

子供達・家庭・学校が共同で取り組む情報モラル教育の推進をこれまでも提案して来ましたが、引き続き取り組んで参ります。

酒井たくや

酒井たくや事務所

164-0003

東京都中野区東中野4-25-5-604

TEL/FAX | 03-5386-2838

MAIL | takuya117@kcd.biglobe.ne.jp

1974年1月17日兵庫県淡路島生まれ 大阪学院大学法学部卒業

会社員、お笑い芸人活動、アントニオ猪木営業軍団トップセールスマン、政治家秘書を経て、2003年初当選 現在4期目

民主党議員団幹事長歴任、東中野4・5丁目町会青年部、東中野本通り商店会共栄会青年部、中野消防団第六分団班長、青少年育成昭和地区委員会体育部副部長、東中野鯉のぼり祭り実行委員会委員長

家族 妻・娘 趣味 野球・プロレス観戦 神輿・お祭り全般

さかたくブログ

